



# 県立図書館通信

令和5年11月号  
(令和5年10月末発行)



佐賀県立図書館の蔵書の中から、高校生にお薦めの本を紹介します。

## 新刊図書



『リベラリズムへの不満』  
フランシス・フクヤマ/著  
新潮社/発行  
資料コード 116432386

左右両派からの攻撃を受け、リベラリズムが深刻な脅威にさらされている。多様な政治的立場を包含する「大きな傘」としてのリベラリズムの真の価値を原点に遡って解き明かし、再生への道を提示する。



『最愛の』  
上田 岳弘/著  
集英社/発行  
資料コード 116441650

久島は、情報も欲望もそつなく処理する「血も涙もない的確な現代人」として日常を生活している。だが、学生時代に手紙を交わし続けた望未だけが、人生唯一の愛として、心を離れない…。『すばる』連載に加筆・修正。



『想起の空間』  
アライダ・アスマン/著  
水声社/発行  
資料コード 116433780

ニーチェらの研究、シェイクスピアらの文学作品、キーファーらの現代美術などを手がかりに、古代からデジタル時代に至る想起の文化史を概観。20世紀を経て現在も先鋭化する、記憶をめぐる問題を多角的に描き出す。



『エンタイトル』  
ケイト・マン/著  
人文書院/発行  
資料コード 116434077

女性へのハラスメントや性暴力ののち、被害者側が非難される。なぜそんなことがまかり通るのか。ミソジニーが守ろうとする男性の特権意識を鍵として、家父長制が一見弱まりつつある時代における女性嫌悪の現れかたを抉り出す。

## 高校図書館紹介

## 佐賀県立唐津商業高等学校

～生徒図書委員会で読書活動を盛り上げよう～

このコーナーでは、県内高等学校等の図書館を紹介していきます。今回は、唐津市にある佐賀県立唐津商業高等学校図書館の活動です。



### 校内ビブリオバトル

年に一度、各クラスでビブリオバトルを実施しています。図書委員を中心に司会進行などもすべて生徒が行います。生徒たちは、紹介された本のなかで一番読みたいと思った本を選び、クラスのチャンプ本を決定します。日頃自分では選ばないような本でも、クラスメイトが紹介することで興味を持ち、今まで手にすることがなかった本を読むいい機会となっています。

カウンター近くにおすすめコーナーを設置し、生徒たちに興味を持ってもらい、本を手にとってもらえるような環境づくりをしています。

### おすすめコーナーの設置

本屋大賞にノミネートされた作家 <寺地はるなさん>が唐津市出身だったこともあり、全作品をそろえたコーナーを作りました。



### 図書室の先生のおススメの本



『リボルバー』  
原田 マハ/著  
幻冬舎/発行  
資料コード 116457003

ひまわりや星月夜など多くの有名な作品を残した画家フィンセント・ファン・ゴッホ。実際の史実に基づいたフィクションなので、絵画に造詣が深くなくても、この本を読んだ後は、美術館に行って実物を見たくなるといいます。

### 図書委員のおススメの本



『ガラスの海を渡る舟』  
寺地 はるな/著  
PHP 研究所/発行  
資料コード 116290602

周囲からいつも浮いてしまうちょっと変わった兄と、なんでもそつなくこなす妹。正反対の性格の二人が祖父のガラス工房を継ぐこととなります。主人公(妹)の兄に対する感情の変化が描かれた作品です。

編集 佐賀県立図書館 司書ネットワーク課 図書館・司書支援担当 (0952-24-2900)

◎この通信は県立図書館のHPにも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞ <https://www.tosyo-saga.jp/>

お問い合わせはこちらまで